

2023 年度



WEB オープンキャンパス 学科紹介補足資料

文学部 Faculty of Literature

英米文化学科

Department of English Language,
British and American Cultures



英米文化学科年間スケジュール

◇◇例年行われている主な行事を紹介します。

- 4月 新入生研修行事・・・学科別に研修行事が行われます。この研修行事のよいところは学生同士、そして教員と親睦を深めることができます。大学生活について不安に思うことがあれば遠慮なく教員に相談しましょう。
前期授業開始・・・大学生は時間割を自分で作ります。各自の興味や進路などを考えながら、履修する科目を選びます。
- 6月 TOEFL ITP (第1回)・・・留学のための英語資格試験 TOEFL の模試を学内で受験することができます。
TOEIC IP (第1回)・・・英語資格試験 TOEIC を学内で受験します。
教育実習 (3年生、4年生)・・・教職課程を履修している学生は、中学校や高校の教壇に立って、いよいよ仕上げのときを迎えます。
- 8/9月 夏休み・・・夏休みと春休みには、多くの学生が、本学の留学支援制度を利用して、海外へ留学します。またこの時期に、長期 (半年/1年間) の留学に出発する学生も多数います。
- 10月 後期授業開始
TOEFL ITP (第2回)
- 11月 英米文化学会年次大会・・・学科主催の「英米文化学会」の大会が開かれます。毎年、4年生や大学院生の研究発表、本学や他大学の教員による講演が行われます。
- 12月 TOEIC IP (第2回)
卒業論文提出 (4年生)・・・ゼミの仲間たちと励まし合い、議論を重ねながら、自分だけのテーマを追究して卒業論文を書き上げます。締め切り前は大変ですが、無事に提出した後は充実感で一杯になることでしょう。
- 1月 卒業論文を語る会・・・卒業論文の概要を4年生が発表します。1年生、2年生、3年生も聴講します。
- 3月 卒業式、春休み

英米文化学科 用語三解説

◇◇学科紹介動画の「英米文化学科のカリキュラム」および大学案内パンフレットの「4年間のカリキュラム」(20頁)で使われている用語について簡単に説明します。

「講読」

講読は、原文でじかに味わって読む授業です。英米の評論や文学作品にじっくりと取り組み、英語で書かれた研究書に挑戦します。英語の読解力が鍛えられます。

「講義」

特定のテーマに沿って、教員が話をする授業です。また、映像を観たり、クラスで意見交換したりすることもあります。話題は、英米の文化や文学の歴史、英語と日本語のしくみの違いなどさまざまです。興味や知識の幅を大きく広げましょう。

「演習」

演習は、まさに学生が主役の授業です。課題に対して、学生が主体的に取り組み、研究し、その成果を発表します。3・4年生向けに展開する「英語学演習」、「英米文学演習」、「英米文化演習」は、学生が一人の教員の演習を選択して受講することで、その教員の「ゼミ」に参加することになります。ゼミとは、指導教員と少数の学生との小さな集まりであり、演習の授業を含んだその活動のことです。ゼミ内で、文献読解や発表、ディスカッションなどを繰り返し、卒業論文作成に向け、リサーチや論文作成の方法を学んでいきます。学生は各自の研究課題に合うゼミを選び、2年間続けて所属します。

「自律学修」

教員の助言の下に、学生が自主的に様々な学修計画を立てて行い、その経過や結果を報告、提出することによって単位が認定されます。

英米文化学科 — 教育課程の特色 —

英米文化学科では、入学から卒業まで、学生「ひとりひとり」を大切にすることを教育が行われます。

英語の運用能力を向上させる授業科目には、これまでの英語学習の復習を行う科目からはじめて、英語を聴く、話す、読む、書くためのスキルを専門的に伸ばす科目、TOEIC や TOEFL の試験対策科目などがあります。それらの授業のほとんどが少人数のクラス編成で行われますので、個々の学生の目的や能力にあわせた学習が実現しています。

なお、これらの科目の多くはネイティブ・スピーカーの教員が担当しますので、実践的な英語力が身につきます。さらに本学の留学支援制度を活用して海外の大学で学び、またコンピュータを用いて英語を自主的に学ぶことによって、英語力を上げることができます。

英語の仕組みを学ぶ科目、英米の文学や映像作品を理解する科目、そして英米の文化全般を学ぶ科目でも、学生「ひとりひとり」への対応が可能となっています。それは、学生数に対して学科専任教員の数がひときわ多いからです。

教員の数が多いとは、多様な専門分野の授業が常に開かれているということです。みなさんのあいだでも、興味や関心、大学で専門的に学びたいものはさまざまでしょう。英米文化学科は、そうした学生の知的多様性に応えることができるところです。いいかえれば、みなさん「ひとりひとり」の自主性にそったかたちで、着実に勉学を進めてゆけるところなのです。

少人数教育と学生の自主性が尊重される教育体制は、3年生から準備を始める卒業論文の作成においてとりわけその真価を発揮します。

まず学生「ひとりひとり」が、自分の研究テーマをみすえたうえで、それに最もふさわしい指導教員のもとに集まります。その後2年間、学生と教員、また学生同士のディスカッションや研究発表をつうじて、自らの研究を深め、論文の執筆に取り組みます。英米文化学科ではこうした一連の知的活動を行う場をゼミと呼んでいます。そこでは、自分が選んだ研究テーマの専門的知識が増え、その理解が深まるばかりではありません。仲間と討論し、自分の考えを文章に表し、さらに口頭で発表することをおして、コミュニケーション能力が総合的に向上してゆきます。そのうえ、こうしたゼミでの活動からは、職業人として活躍するための粘り強さや分析力、論理的な思考力や立案力も育まれてゆくのです。

英語科教員免許状の取得のためには、文学部が設ける授業科目を受講しなければなりません。英米文化学科の専門科目と文学部で開講される「教職に関する科目」を履修することで、中学校および高等学校の英語科教員免許状が与えられます。

英米文化学科は、実践的な英語教育法に関する科目に加えて、教員採用試験対策の科目も設けています。さらに学科の専任教員は、教育実習を含む全般的な履修指導をつうじて、英語の教員になろうとするみなさん「ひとりひとり」に対してきめ細かな支援を行います。

英米文化学科の学生の場合、英語科教員免許状は、無理なく4年間で取得することができます。またあわせて小学校教員免許状や学芸員の資格も、在学中に取得することが可能です。

英米文化学科シラバス

本学ウェブサイトより、各学部・学科のシラバス(講義内容)を見ることができます。

本学ウェブサイトのトップページ⇒「留学・学生生活」⇒「学生生活」⇒「シラバス」⇒「学部(シラバス検索システム:外部リンク)」と進んでください。

画像はスマートフォン版のサイトを表示しています

年度指定 (別の年度の情報を閲覧したい場合は、左の年度指定を閲覧したい年度に変更して下さい)

以下の条件で指定した年度のシラバスを検索します

- ※ 検索条件を入力後 をクリックして下さい。
- ※ 何も指定しない場合は、選択した年度の全てのシラバスが検索対象となります。
- ※ 複数条件を指定した場合は、AND条件で検索します。

検索条件

開講学部学科

講義科目名 (部分一致検索)

教員名 (部分一致検索)

キーワード

**学部・学科を選択して「この条件で検索する」をクリック
→ 一覧が表示されます**